



看護部通信

2020年10月



残暑のきびしさもようやく落ち着き、朝晩肌寒く感じられるようになりました。今年はコロナ禍にあり、「三密を守った新しい生活様式」とは言われていますが、秋の行楽シーズンにつられつつ大事なことを忘れそうになってしまいます。毎日が忙しいと思いますがリハセンへの長い通勤時間を利用し、車からみえる木々の色づきを感じながら自然の移ろいを楽しんでみるのはいかがでしょうか？
(看護師長会)

「早生まれの子供はプロスポーツ選手になるのは難しい？」

2病棟 T

最近目にした新聞記事に、「早生まれの子供は同学年の子供と比べて体格的に不利だ」とありました。日本は4月が年度始まりであることが影響していると考えられます。実際2019年のプロ野球選手の誕生日は、4～6月生まれは31.6%、7～9月28.8%、10～12月21.0%、1～3月18.6%と明らかに早生まれの割合が少なくなっています。これはプロのサッカー選手やバスケットボール選手でも同様のことが言えるようです。

では、早生まれの子供はプロスポーツ選手にはなれないのでしょうか。そんなことはありません。2017年日本中央競馬会のデータでは4～6月生まれの騎手は12.3%、1～3月35.5%と圧倒的に早生まれのほうが多いのです。あの有名騎手、武豊の誕生日は3月15日です。「騎手は体重が軽い方が有利とされ、競馬学校に入るときに成長が遅い早生まれの方が入りやすいのでは」と某准教授は言っています。

これはあくまでもデータ上の話です。でも、親として一番大切なのは、子供が本当にやりたいことを全力で支え続けてあげることですね。



フレ～！
フレ～！

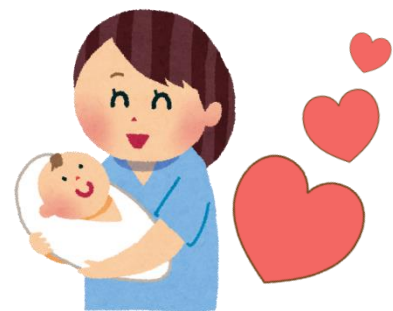
「精神科看護での学び」

2病棟 M

私はこれまで約6年間、当センターで精神科看護に従事してきました。学ぶことばかりで、あっという間の充実した日々でした。

精神科看護における看護師の役割には、コミュニケーションにより心理ケア、セルフケア援助、本人や家族に対する疾患教育や指導、適切なアセスメントなど様々な要素が挙げられます。精神科の患者さんは、自身の症状を的確に伝えられなかったり、反対に過剰に表現することがあったりするため、小さな変化を見逃すことのないような観察力も必要です。先輩達からは、これまでこのような大切なことを教えていただきました。また、多くの学びの機会や環境を与えていただき、本当に感謝しています。

しばらくお休みをいただきますが、復帰後もこの学びを活かし、患者さんに寄り添い安全安楽の看護が提供できるようしっかり充電してきます。



お母さんとしての成長も楽しみですね！